

令和6年度

環境経営レポート

対象期間：令和5年10月1日～令和6年9月30日



発行年月日：令和6年12月13日

山田建設株式会社



目 次

1 環境経営方針	1
2 事業概要 & 認証登録範囲	2
3 実施体制	3
4 環境経営目標	4
5 環境経営計画	5
6 環境目標の実績	6
7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	7
8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	8
9 代表者による全体評価と見直しの結果	9

1 環境経営方針

＜環境理念＞

山田建設株式会社は、あまちゃんの里 久慈の緑と自然豊かな地域で建設業を営んでおります。建設業に於いて、豊かな資源環境への影響に配慮して、環境保全活動に積極的に関わり、地域社会への貢献に努めます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 電気使用、自動車燃料による二酸化炭素の削減
2. 建設副産物の削減と、再資源化の促進
3. 可能な限り、建設資材は再生材を利用する
4. 環境に配慮した施工を提案する。
5. グリーン商品の購入
6. 環境関連法規を遵守する
7. 地域環境活動への積極的参加
8. 環境方針を全従業員に周知する

制定日 平成27年9月22日

山田建設株式会社
代表取締役 山田朋康

2 事業概要&認証登録範囲

1 名称及び代表者名

山田建設株式会社
代表取締役 山 田 朋 康

2 所在地

本社 〒028-8111
岩手県久慈市宇部町第6地割17番地2
TEL 0194-56-2120 FAX 0194-56-2830
土場 〒028-8111
岩手県久慈市宇部町第4地割89-1

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 建築部
担当者 総務部 TEL 0194-56-2120

4 事業活動の内容

特定建設業 土木工事業 建築工事業 鋼構造物工事業 解体工事業
一般建設業 左官工事業 鉄筋工事業 板金工事業 硝子工事業 塗装工事業
防水工事業 熱絶縁工事業 建具工事業 大工工事業 とび・土工事業
石工事業 屋根工事業 タイル・れんが・ブロック工事業 舗装工事業
しゅんせつ工事業 内装仕上工事業
水道施設工事業 浄化槽工事業
一級建築士事務所 山田建設(株)設計部 岩手県知事登録第お(2401)1341号
宅地建物取引業 岩手県知事登録 (6)第2061号

5 事業規模 令和6年度実績

資本金 30.5百万円
従業員数 18名
完成工事高 564百万円
建築工事 549百万円
土木工事 15百万円
本社 敷地面積 1,281 m² 床面積 225.24 m²
土場 敷地面積 5,067 m²

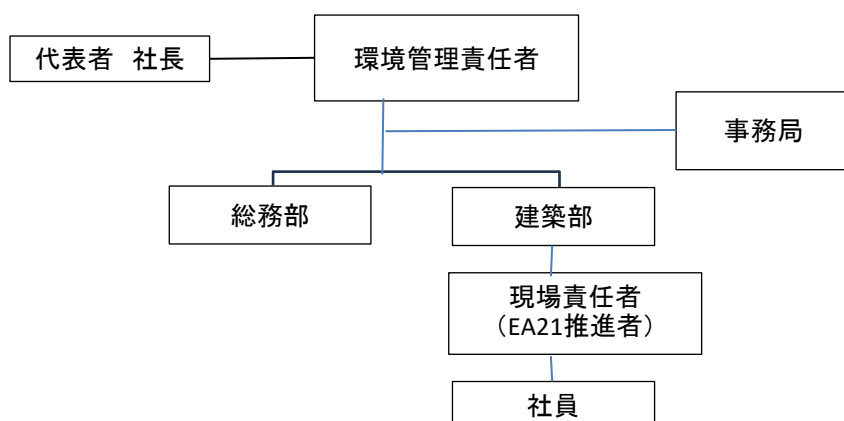
6 事業年度 10月1日～翌年9月30日まで

7 認証登録範囲

対象範囲 山田建設株式会社の全組織・全活動

3 実施体制

(1)組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任。
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。
	・環境方針の策定
	・課題とチャンスの明確化
	・実施体制の構築
環境管理委員会	・委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。
	・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門で実施する。
	・内部監査の代りに、計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、不適合・不具合が有る場合は代表者、環境管理責任者に是正を勧告する。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告。
	・是正処置・予防処置の実施
環境事務局	・環境管理責任者の補佐。
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
	・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
	・取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。
環境責任者	担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。
	・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。
	・従業員に対する教育訓練の実施
全社員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

4 環境経営目標

1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	85,853	85,750	86,249	52,328
購入電力使用量	k w h	2,086,861	9,911	27,673	10,068
廃棄物排出量	t /年	1,145.41	25.71	18.05	9.49

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省報道発表(2022年度)の実排出係数 0.477kg-CO₂/kwhを使用。

2 環境経営目標の設定

当社では、令和5年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境経営目標

基準年度(令和5年度)比の削減(増加)率(%)

項目	基準年度実績値		中期目標(内単年度目標)		
	実績値	単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
二酸化炭素排出量	86,249	kgCO ₂	0.2%削減	0.2%削減	0.2%削減
購入電力使用量	27,673	Kwh	0.2%削減	0.2%削減	0.2%削減
軽油使用量	21,677	L	0.2%削減	0.2%削減	0.2%削減
ガソリン使用量	6,961	L	0.2%削減	0.2%削減	0.2%削減
産業廃棄物排出量	18.05	t	0.2%削減	0.2%削減	0.2%削減

5 環境経営計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル等に取り組んでおります。

取組の実施状況の評価結果は、表3のとおりです。

表3 主な環境経営計画の内容と取組結果

項目		取組内容	評価	備考
二酸化炭素排出量の抑制	照明	昼休み時の照明消灯と部分照明の実行	○	出来ている
		電灯取替時はLEDに変更する	-	交換時期になっていない
	節電	使用していないときには電源のコンセントをこまめに抜く	○	出来ている
	車両 その他	アイドリングの禁止、急発進、急加速の禁止、エコドライブの励行	○	出来ている
		建設機械の省エネ運転の推進	○	出来ている
		タイヤの空気圧の点検・整備、不要な荷物は、降ろす	○	出来ている
		エアコンの使用は適切に使用、暖房時 A/C=OFF	○	出来ている
の建設 排出副 抑制物	産業 廃棄物	現場での産業廃棄物の抑制に努める	○	出来ている
		産業廃棄物管理票をもとにした廃棄物の適正な処理	○	出来ている

充分やった:○

6 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、令和6年度までの実績についての評価結果を

報告いたします。（以下、評価結果等について簡潔にコメントする。）

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準値	当該年度(令和6年度)			環境目標の達成状況
		令和5年度	削減(増加)	目標値	実績値	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	86,249	0.2%削減	86,077	52,328	61%
購入電力使用量	Kwh	27,673	0.2%削減	27,618	10,068	36%
軽油使用量	L	21,677	0.2%削減	21,634	12,735	59%
ガソリン使用量	L	6,961	0.2%削減	6,947	5,828	84%
産業廃棄物排出量	t/年	18.05	0.2%削減	18.01	9.49	53%

(1)取組状況

①電力の二酸化炭素

昼休み時の照明消灯、事務所、作業場の部分照明の実施

休憩時は電気、発電機の電源を切る

②軽油使用量 低騒音型重機の使用。

波状運転しない

③ガソリン使用量 アイドリングストップ、空ぶかししない、ふんわりアクセル、加減速の少ない運転

暖房時のA/CのOFF、不要な荷物を降ろす、タイヤの空気圧の点検・整備

④産業廃棄物

ゴミが出ないように梱包させないで商品を搬入させる

ゴミが出ないように端材は次の現場で使用するようにする

7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1. 取組結果の評価

表5 主な環境経営計画の内容と取組結果

項目		実施状況の評価	達成度
二酸化炭素排出量の抑制	照明	一部ではあるがLEDに変更出来ている。	△
	節電	昼休みの消灯、部分照明は実施できている。 休憩時の電気、発電機の電源を切ることも実施出来ている。 帰宅時にコンセントを抜くことも実施できている。 必要以上にクーラーを使用しない。	○
	車両その他	アイドリングストップ、空ぶかしはしない、加減速の少ない運転 暖房時のA/CのOFF、不要な荷物は、降ろす。 タイヤの空気圧の点検・整備、ふんわりアクセル ガソリンの消費が抑えられた。	○
建設副産物の排出抑制	産業廃棄物	材料は、梱包させない。 端材は、次の現場で使用する。	○

○:評価できる、△:まずまず評価できる、×:評価できない

2. 次年度の環境経営取組内容

(1)二酸化炭素排出量の削減

具体的活動項目については、運用期間に引続き一層の努力を持って確実に実行し、結果に繋げて行く。

(2)廃棄物の排出削減

具体的活動項目については、運用期間に引続き一層の努力を持って確実に実行し、結果に繋げて行く。

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去9年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題が有りませんでした。

主な関係法令遵守状況は下記となります。

No.	関連法令	条項	要求事項	遵守
1	建設リサイクル法	第10条	対象建設工事の届け出	○
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条2項	産業廃棄物保管の基準	○
3		第12条5項	産業廃棄物は許可業者に委託	○
4		第12条の3 第7項	産業廃棄物管理票交付状況報告	○
5	岩手県循環型地域社会の形成に関する条例	第22条	排出事業者等の責務等	○

9 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
1 環境方針	適切に実行されている	特になし
2 環境目標	適切に実行されている	特になし
3 環境活動計画及び環境経営システム	適切に実行されている	特になし
4 環境経営システム	適切に実行されている	特になし
5 全体評価 今年度の二酸化炭素排出量は、昨年度より、大きく減った。 電力は、作業場での加工作業が多かった為、増えた。 ガソリン、軽油使用量は、大きく減った。 又、産業廃棄物の再資源化率は、大きく増えた。 環境問題に取り組んで、9年になるので社員は、環境活動意識が身についている。 来年度もより一層の環境負荷の低減をできるように努めていきたい。		